



お客様情報管理ソフト

新バージョンの変更ポイント



お客様情報管理ソフトの新しいバージョンでは、3つの変更点があります。

1 2台以上でデータを共有して利用できるようになりました

お客様情報管理ソフトの現バージョン(ver3.5.0000)では、1台毎の利用に限定され、複数台のパソコンを使ってお客様情報を共有する利用方法はできませんでした。

新バージョン(ver3.5.0001)では、MicrosoftのWindows Serverライセンスと、使用するパソコンの台数分のCALを購入することで、複数台による利用が可能になります。

※複数台で利用するために必要なライセンスや環境については、中面右に掲載の内容をご確認ください。

これまで(ver3.5.0000)

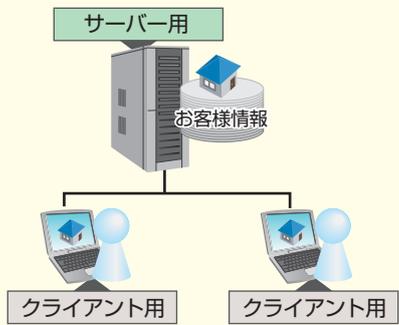
1台のみで顧客情報を管理



これまで(Ver.3.5.0000)は、パソコン1台のみで顧客情報を管理する方法で、パソコン同士で顧客情報を共有することはできませんでした。

これから(ver3.5.0001)

2台以上のパソコンをネットワークで接続して利用



パソコン同士をネットワーク接続して、それぞれのパソコンから同じデータに対してアクセスすることができるようになります。
 ※1台のみでのご利用もこれまでどおり可能です。
 ※異なる場所にある店舗間でデータを共有することはできません。

2台以上でご利用になる場合の注意事項

パソコン同士をネットワーク接続して、お客様情報管理ソフトの「サーバー用」と「クライアント用」の両方を利用する場合は、Microsoft Windows Server(OS)のライセンス及びサーバー専用パソコンが必要になります。

ライセンスをお持ちでない方は、事前に、Microsoft Windows Serverのライセンスを購入していただきますようお願い致します。

2 Windows 10のパソコンで利用できるようになりました

ver3.5.0001より、Windows 10に対応することになりました。

Windows 10以外の各OSの対応状況は以下のようになります。

OS対応状況	Windows Vista	Windows 7(32bit)	Windows 7(64bit)	Windows 8.1(32bit)	Windows 8.1(64bit)	Windows10(32bit)	Windows10(64bit)
ver.3.5.0001	○	○	○	○	○	○	○

3 Excel2016に対応しました

ver3.5.0001より、Excel2016に対応することになりました。

Excelの対応バージョンは、2000/2003/2007/2010/2013/2016になります。

お客様情報管理ソフトを利用されるパソコンにExcel2016がインストールされている場合でも、帳票類を出力できるようになります。